

お子さんの運動会を上手に撮るコツ

運動会でお子さんは徒競走やリレー、綱引き、お遊戯などに出場すると思いますが、それぞれの競技の撮影に合ったカメラの種類や、また有効なカメラ機能設定があります。一眼レフ、ミラーレス、コンパクトデジタルカメラ、スマホなどいろいろありますが、どのシーンでどんなカメラがおすすめなのか紹介します。

松井なおみさん

スタジオZui主宰。広告から雑誌、ホームページ、イベントなど幅広く撮影するフォトグラファー。女性ならではの感性を生かし、美容関係や自然な表情を引き出す人物撮影も得意とする。大の子ども好きで6歳の甥っ子にメロメロの毎日。



運動会はお子さんが動いていることが多く、また集団の中で我が子を撮影するのは至難の技。かけっこ、リレー、綱引き、お遊戯などさまざまな競技に出ますが、どんなカメラを使いこなせばいいのでしょうか。

遠方にいるお子さんや集団の中での撮影なら、やはり一眼レフがおすすめです。300mmまである望遠レンズを使うと、遠くてもお子さんのいきいきとした表情まで寄ることができます。最新の一眼レフに機能として付いている、いろいろな角度が撮影できるバリアングルモニターも集団の中の撮影に適しています。とにかく動いているお子さんにピントが合わせやすいのがミラーレス。画面のほぼ全域をカバーするAFセンサー方式を採用しており、被写体に的確にピントを合わせられます。また光を多く集めることができるセンサーサイズも、一眼レフとほぼ変わらない大きさなので、細かい部分まで色の表現ができます。

あまり大きなカメラを持ち歩きたく

ない、レンズ交換が面倒などと思う人にはコンパクトデジタルカメラがおすすめ。予算を抑えたい人にもぴったりです。昨今のコンパクトデジタルカメラは、光学30倍ズームで遠くの被写体にも近づくことが可能です。並んでいる姿やお遊戯、綱引きなど、一か所に何人も集中するようなシーンでも、個別の表情を撮ることができます。またコンパクトデジタルカメラには強力な手ぶれ補正機能が搭載されていますので、ビデオカメラのかわりに動画を撮ってもいいでしょう。

スマホは、一眼レフやミラーレス、コンパクトデジタルカメラなどのカメラに比べると荒い画像になってしまいますが、いつでもどこでもサッと出して撮れる手軽さは魅力です。運動会でお子さんと一緒にお弁当を食べるときや競技間の待機中の一コマなどはスマホで十分。そのままSNSで共有できるのもスマホの特権です。

三脚を置く場所がない場合もありますので、いずれにしても長時間の撮影ではコンパクトで軽めのカメラがいいでしょう。

